

木崎先生は、私が日建学院で始めて講師をしたときの生徒さんでした。

そのときは、私は二級建築士試験の設計製図を担当していたのですが、木崎先生はその後、一級建築士や他の資格まで取得され専門学校講師として活躍されています。

その木崎先生にマニュアルを読んで頂き、ご感想を頂きました。

酒井利美 先生

いつもお世話になっています。

貴重な資料を拝見させていただき有難うございました。

私の考えや体験を含め、
「合格戦略マニュアル」については項目別に、
「5倍速勉強法」、「加速製図法」、「結果の出る効果的な勉強法」については
感じたことをまとめてみました。

読んでいるうちに自分が受験生だった頃を思い出し、
自分の体験談になってしまった箇所もありますがご了承ください。

一級建築士試験に合格するために、余分な労力は使わず、
最低限の労力と時間で合格させるテクニックが
十分記載されていると思います。
私自身、人に教えるということが好きですし、
自分自身のスキルやビジネス面での向上のためにも
今後とも受験生を応援していきたいと思っています。

■【一級建築士試験合格戦略マニュアル】について

一級建築士をめざす理由とは・・・について

私も一級建築士を目指す理由は、

「自分のため」

「誰かのため！」

この2通りだと考えます。

私の場合、酒井先生のおかげもあり二級建築士の試験に合格することが出来ました。

その二級建築士の勉強を進めているうちに、
二級建築士より上の資格があるのは、
自分がこれから仕事をしていくうえで、面白くないな！
と思い一級建築士を目指すことにしたのです。

私の場合、専門学校を卒業しましたが、
卒業すれば受験資格はもらえると思い、
在学時代は教科書を開いたことがないような
生徒でした。

そんな私が二級建築士を受験したわけですが、
二級でも最初は小テストの結果は言うまでもなく
毎回、最下位のほうでした。

ですが、不思議なことに自分がしている仕事に関する内容を
勉強して覚えるということが楽しくなってきたのです。

おかげで二級学科試験の際は、前日にお酒を飲んでいたのですが
全教科ほぼ満点取ることができました。

だからこそ、一級を受験しようと思ったのです。

言い忘れていましたが、私の場合の受験理由は
「自分のため」以外の何者でもありません。

ですが、自分が3年前から学科の講師をしながら日建の生徒さんを
見ていると自分のためと思って受験している生徒さんが何人いるのかが疑問です。

長い勉強生活が続くと忘れてしまうのでしょうか・・・

酒井先生がマニュアルで書かれていることは大事なことだと私は思うのですが、
その基本を忘れてしまって、ただ勉強しているだけの生徒さんが
多いと感じていました。

最初に目的意識をはっきりしておくこと！

酒井先生が一番最初に受験理由について語っていることに
とても共感します。

■【最短で合格するための結果の出る努力の方法とは】について

「どう勉強したらいいんですか？」

私にもこういう質問がたまにあります。

こういう質問をしてくる人の中には、どう勉強するかを考えて時間が過ぎてる人もいました。

そういう生徒さんには私は、とりあえず勉強する時間を作ってもらわないと仕方がないので「学科は時間をかけた人が勝ちだから」と答えていました。

そう答えることで「考えているだけで進まない人」も勉強する時間をとってもらえれば先に進むと思ったからです。

酒井先生の5倍速勉強方はその先の工程ですよね？

その手前のことしかまだ私は伝えてなかったと思います。

感情をコントロールすること！

とても大事なことだと思います。

勉強はもちろん、試験勉強中には他の考え方もあると思います。

ですが、自分で目標を立て理解することでその範囲を終了とする。

私も日建のスケジュールの範囲や問題集は、また今度と持ち越さないで理解して終了としていました。

酒井先生の「〇〇をしっかり理解することが出来たからOKにしよう」

という例えは、分かりやすいと感じます。

最短で合格するには、自分を把握することが大事ですから。

■【私の一級建築士試験合格体験記】について

酒井先生の経験の後に、過去問題集を活用することが
試験勉強には良い方法だという考え方、
私も過去問は大切だと思います。

最近是新傾向の問題も多く出題されるようになっていますが、
6割程度は過去問で対応できるというデータも出ているみたいですから。

■【苦手科目克服法】について

合格するためには、「苦手科目をなくす」ことが必要ですよね。
分かってもなかなか出来ないことだと思います。

私の場合、酒井先生と逆で計画が一番苦手でした。

計画は覚えることがたくさんあり、
内容が広いと感じていたため嫌な科目でした。

ですが、勉強法は酒井先生の導きだしている
勉強の達成度 = (『〇〇』 + 『〇〇』) × 『〇〇』
を自然に実践してた気がします。

苦手科目でも理解出来れば不思議と苦手じゃなくなるんですよね？

私の場合は単純なだけかもしれませんが、
苦手科目をほったらかしにしてはやはり合格は難しいと思います。

よく、「構造計算は捨てろ！」という問題集を見かけましたが、
本当に構造計算を捨てて合格している人が何人いるのか？

私が前から気になっている疑問のひとつです。

構造計算こそ点数を稼げるのに・・・と思います。

繰り返し学習をするのに
「苦手なことも・・・ことで成果があらわれる」

良い言葉ですね。

■【頭の中身を整理して新しい知識を吸収しやすくする方法】について

「〇〇〇〇」

初めて耳にしました。

今度、実践してみます。

■【『法令集』を攻略して建築法規で点数を稼ぐ方法】について

私とまったく同じ勉強法です。

違うところと言えば、

.....

それと、私が受験対策で法令集の作り方を尋ねられた際には
インデックスを縦部分に増やす分には問題ないんですが、
上下にインデックスを増やす場合には、
あくまで試験対策を前置きしたうえで、
下側にインデックスを貼るように答えていました。

それは、本棚に立てられないのが欠点なんですが、
上にインデックスを貼って覗き込んで探すより、
手元を見たほうが早かったからです。

私は法令集を引くのは誰よりも早かったつもりなんで、
決して時間が足りなかったわけではありません。

たかが、数秒のことなんで今までも聞かれた人に対して参考までに
話しをしていただけですが、時間に少しでも余裕を持ちたかったので、

私はそうしていました。

■【『構造』を攻略して建築構造の科目で点数を稼ぐ方法】について

構造に関しても、問題集に書き込みをする以外ほぼ同じ勉強法でした。

私の場合は他の科目もそうなのですが、
テキストへの書き込みは多かった気がします。

ですが、試験近くには構造計算は・・・・・・しました。

試験会場で目を通すにはやはり、復習に楽でしたから。

これも問題集を2冊もらえれば酒井先生の勉強法と
まったく同じになっていたかもしれません。

この後の施工に関しては、同じ勉強法です。

イメージは大切なことだと思います。

私も合格する情報をお金で買い、時間を使い、本当ならば
もっと時間がかかることを最短で合格するという、
「時間」と「お金」を交換していると生徒として通っている時に感じました。
この『合格戦略マニュアル』は受験生にとって大切な情報だと感じました。

■【5倍速勉強法について】

上手に作ってあるなあ～！
というのが最初に読ませてもらった時の感想です。

個人的に一番凄いと思ったことは、やはり模擬試験で1位！！！！です。

全国模擬試験で1位をとった先生に教えてもらえるということは、この5倍速勉強法を読む生徒さんにとっては、とても信頼を得ることができ、頼りになることだと思います。

インパクトが大きいです。

1級建築士受験で日建に通い始めた頃も最下位とまではいいませんが、上位にいた記憶はありません。

酒井先生の周りの同級生が一回で合格した人が少なかったのと同じで私は専門学校卒業なので1級を24歳で1回で合格したのは自分一人でした。

そんな自分と同じ環境で合格する人は0.1%未満だそうです。

決して自慢したいわけではなく、自分が日建の学科の講師を頼まれた理由としては底辺という言い方も変ですが、本当に何も知らないところから2級建築士試験に合格し、1級建築士試験にも合格したという理由もあると思います。でなければ、講師を頼まれた当時は坊主に顎ひげを生やしていましたので、講師を頼まれるなんてなかったんだろうな・・・

と、自分なりに勝手に解釈しています。

実際に3年前に最初の講師をしていたときには「構造」は大学の先生が来るから構造は見なくていいよ。と言われていました。

ですが、大学の構造の専門の先生は理論が逆に難しすぎて、1級建築士を受験する生徒さんが余計に分からなくなっているからと呼ばれたこともありました。

ただ、私の場合は年上の生徒さんが多すぎて、こんな年下に教えてもらわなくて構わないと思っている人も多いんだろうな、と勝手に思い込んでたので全然みんなの前では講師らしい話も出来なく、質問してくる生徒さんとはしか話しが出来ませんでした。

現在も私が2級建築士を受験している頃からの生徒さんもいらっしゃるのですがあまり積極的には発言も出来てはいないのですが・・・

〇〇を見ないでください！

このテキストを読んで、自分は〇〇があると集中できないからという理由で〇〇を見なかったのですが、〇〇からの情報を吸収してしまうからとは考えませんでした。

本当に上手くテキストを作っていると思います。

時間が足りない人にかかなり有効な勉強方法だと思います。

また、時間があがり、1年前から日建のような専門学校に通われている方で点数が伸びない方にも、間違いの枝を理解すれば小テストなどの目の前の点数も伸びてきははじめ、勉強が楽しくなってくるかもしれません。

やはり、目に見える学習の上達は試験勉強には必要なことだと思います。

〇〇に対する書き込みは、初めて聞いたときは

「えっ！」

とってしまいました。(スイマセン)

後半の追い込みになったときに本当に覚えているかどうか確認するのに
使えなくなってしまうのでは？
と、考えました。

ですが、これもやはり目に見える学習方法には適切な指導であることが
理解できました。

Q & Aを最後のページに掲載されているのも、分かりやすく
このテキストを読まれた方の為にも良かったです。

建築を知らなければできない！
人に教えることが好きでなくてはできない！
何より行動力がなくてはできない！

■【加速製図法について】

始めに私が1級の製図試験を受験したときの話しをさせてください。

私は学科試験後、設計製図コースに申し込みました。

初日に一人一人呼ばれ、採点してもらっていたときの話しです。

私は1級の製図試験のエスキスがまとまりませんでした。

そこで、当時の1級の製図の先生に質問しました。

「エスキスはどうやってまとめればいいんですか？」と

すると先生の答えは

「君はまだ若いから文章読むところからはじめてください。
来年あるんだから」

同じようなことを私の知り合いも言われました。

最初に合格しないと思われたのか、簡単に捨てられました。

製図コースに通う期間に、その先生にまともに採点してもらっていません。

当時はかなり腹が立ったのを覚えています。

ですが、そんな先生を相手にしている時間が私にはありませんでした。

最初は作図力もなく、エスキスもまとまらなかったのですから。

そこで、私は事務局の方に相談したところ

「I先生に見てもらえばいいよ」

というあっさりとした解答だったので、
私はI先生が教室に来る度に教えてもらうことにしました。

去年、I先生にお会いしたときに

「あなたみたいな生徒はあれからいないな」

と言われてしまいました。

後半にはインターネットの問題や市販の問題を持ち込んで採点してもらったので、
そんな生徒さんは他にいなかったのかもしれませんが・・・

図面を書いた枚数は覚えていませんが、作図は書かなきゃいけないということは、2級受験のときから分かっていたことなので、枚数は書き上げていたため試験のエスキスもなんとかまとまり時間内に仕上げることができ合格できました。

加速製図法のテキストも私が実践してきた方法とほぼ同じです。

なんとか合格出来ました。

その時に思ったのが、やはり〇〇は大切だということでした。

酒井先生の奥さんも凄いですね。

いろいろご活躍しているようですし、この加速製図法を読んでもポイントを抑え、自分の体験談を基に分かりやすく受験生が共感できるよう配慮しながら説明してあると思います。

■【結果の出る効果的な勉強法】について

項目別に短くまとめているので読みやすいですし、

何よりも自分のしている勉強法が間違いではないと信じるためにも心のよりどころとなるテキストだと思います。

この「結果の出る効果的な勉強法」は自分が受験生の頃に読みたかったテキストだと感じました。

この私が書いた感想文を読んでいる受験生の皆さんに一言。

「一級建築士試験頑張ってください！」

一級建築士・一級建築施工管理技師
宅地建物取引主任者・専門学校講師
木崎

貴重なお話までしていただき
木崎先生ありがとうございました。

私が公開している『一級建築士試験必勝合格マニュアル』は、

- ・ 5倍速勉強法
 - ・ 一級建築士試験合格戦略マニュアル
 - ・ 結果の出る効果的な勉強法
- 特別特典：その1 特別レポート集
特別特典：その2 アクションプランシート
特別特典：その3 インターネットセミナー
特別特典：その4 月3回のメールサポート
特別特典：その5 マニュアル購読者限定メールマガジン

という内容です。

マニュアルだけでも合計すると200ページを超えます。
分かりやすく解説するためにインターネットセミナーとして
130分間に映像と音声があります。

そして、受験生の方からメールを頂きました。

「学科試験を突破しなければ、設計製図試験の勉強をすることができないので学科試験合格後に「加速製図法」を購入するわけにはいきませんか？」というマニュアルについてご質問でした。

私は、学科試験の勉強時から設計製図試験の全体像を把握した方が効果的だと思っているので、当初「加速製図法」をセットで公開していましたが、確かに、学科試験を突破しなければ設計製図試験の勉強をしても意味がありません。

ですから、『加速製図法』に関してはオプションとしました。

■ 『5倍速勉強法：一級建築士試験必勝合格マニュアル』

詳細はこちらをクリックをご覧ください。

↓

<http://www.kenchikusi.jp/story.htm>

建築士JP

酒井利美